公益社団法人　# 隊友　船橋だより

平成２９年６月号　発行：千葉県隊友会 船橋支部事務局

## 「２９年度船橋支部総会は、原案通り可決された」

千葉県隊友会船橋支部は５月２８日習志野駐屯地隊員クラブにおいて２９年度定期総会を会員３３名の参加で実施しました。

支部長森良雄の「支部の活性化のため皆で創意工夫し楽しくやりましょう」と挨拶から始まり１号議案～６号議案まで原案通り可決し、予定通り閉会した。

１１時から空挺資料館の見学組は、語り部「内田理事」が実施、予定の時間が足りないくらい熱心に説明されました。

## 「隊友会説明会を最先任上級曹長等に行った」

支部総会の後、１１時から習志野駐屯地で千葉県隊友会会長小渕信夫氏、事務局長精山英人氏、会勢拡大担当理事永岡雅史氏のご臨席賜り、隊友会の一般説明、厚生・親睦活動、保険の継続、ボランティア活動、災害普及支援活動などのお話がありました。その後、船橋支部長森良雄から、説明会の趣旨説明、門脇副支部長が船橋支部の活動状況をプロジェクターで説明しました。

昨年、船橋支部の主な活動内容は次の通りです。

1. 定期総会、船橋支部会員である「船橋市防災監安藤正一氏」の防災講話、懇親会。
2. 千葉県護国神社春秋例大祭支援。

3. 大穴地区嗚呼海軍七勇碑の慰霊祭と清掃懇談。
4. 習志野駐屯地夏祭り会場で納涼懇親会。
5. 富士総合火力演習見学。（２６年から実施、毎年自衛隊入隊希望の高校３年生５名を引率、すべてが入隊している）
6. 自衛隊音楽祭り見学。（２８年度から実施）
7. 忘年会。

# 「習志野駐屯地の最先任上級曹長等との懇親会」

「隊友会説明会」後の１２時から隊員クラブホールにおいて参加者全員で最先任上級曹長等との懇親会を実施、会員は入れ代わり立ち代わり最先任上級曹長の所に行き現役時代の思い出話しをし、例年なく盛会であった。

今後、定年退官者や満期退職者の隊友会入会に大きな期待と手ごたえを感じた。

この様に現職隊員と会員は和やかに一日を過ごしました。（２８年度入会員２名の参加）次回の行事には皆様の参加をお待ちしています。（事務局）

# 「築山正前高根分会長の剣道人生を語る」

29 年 5 月 20 日

この記事を書くに当たり、私の剣歴を辿ることが判り易いので、私の剣道歴を振り返りながら記述いたします。

昭和１５年小学校で竹刀を執る。

昭和１７年旧制中学校に入学（中学校では剣道が正科)。

昭和２０年終戦で剣道禁止。その後は船員となり海上勤務のため剣道が中止。

２７年船員を止め、陸上自衛隊に採用され市ヶ谷に勤務し、剣道再開（当時の市谷道場は１５～６人で稽古しておりました。皆、４段以上で素人は無理と言われましたが切望して入会。終戦から２７年まで８年の空白を除き通産約５５年になります。

警察の道場で稽古を観た時の感動が現在、私が剣道を始める原動となりました。中学校では剣道が正科でした。私が入りました中学校の寄宿舎が臣道館という剣道の道場であり、朝は５時から稽古して登校、学校の学科で剣道を続けて終戦となりました。幸いなことに、素晴らしい大先生、先輩、同僚、後輩との出会いが今日の私の剣道の原点となり現在の私の剣道があります。市ヶ谷に勤務しながら日本武道館の武道学園に入校し教育を終了。そこで素晴らしい師、先輩、友人、後輩と竹刀を交えることが出来ました。警視庁の首席師範の森島健男先生からは防具の着用から整備について厳しいご指導を賜

りました。

皇宮警察の中村伊三郎郎先生には猛烈に掛り稽古で鍛え上げられました。警視庁の鶴見先生からは、「基本をしっかりやらなければ剣道界から去ることとなる」と教わりました。筑波大学教授の湯野正憲先生からは猛烈な掛り稽古で鍛えられ、ある時、「参りました」と申し上げたところ、「まだまだ」と言われて必死に立ち向かいました。私の人生はこれで終わるのかと思うほどの稽古でした。剣道の上手下手、速さ、強弱、鋭さ、を超越した世界、いわゆる「無」の世界に入ったような気がしました。日本には様々な「道」がありますが、この剣道の厳しい稽古に没頭した時、何もかも超越した世界が、まさに「無」の世界があったような気がしました。ある時、油絵の役員の上司に「芸術とは何か」と質問しましたところ、「人の心を打つ何かがあること」と解答があり、剣道もまさに日本の芸術である事がわかりました。体と心を鍛える芸術の要素が多分にある剣道は私の半生を大きく捉えております。　どうか皆さん、この芸術に没頭し、苦しく厳しく楽しい剣道を続けようではありませんか。ご存知の永松陟先生が申されました。「剣道は良い師を求め、良い友、上司に出会い、命がけの一本をやることだ」と申されました。

剣道をやりましょう。そして後世に伝えましょう。

船橋武道館の先生方の命がけの稽古を拝見するのが楽しみです。（築山正）

# 春季大穴嗚呼海軍七勇碑慰霊祭

## ６月７日隊友会船橋支部有志で実施しました。

*“碑の供養　　カラスに檄を　　飛ばされて”*

今年度１回目の「嗚呼海軍７勇士殉難の碑の跡碑」供養（草刈り、供養、懇談）を６月７日（水）9、～12 時、有志 13 名で実施した。

当日は梅雨前でしたが、雑木林上のカラスの檄を受けながら、木の選定、ブタ草、笹竹などの背丈を物ともせず（カラ元気を出し合い？）任務終了。写真、後列左上から小倉行田夏見分会長、村山二宮飯山満分会長、羽田大穴分会長、丸山北部理事佐藤（光）大穴会員、宮嶋高根台副分会長、佐藤（正）大穴会員、長内二和咲丘副分会長、木村同分会長

前列左から　門脇坪井松ヶ丘分長、七瀬谷西習志野分会長、窪高根台分会長、河野小室分会長

（記事投稿：門脇）

# 事務局から

４月の役員会で「前原分会の小貫分会長は高齢と体調不調が重なり、隊友の手配りが困難になってきた」との申し出がありました。引継ぎ者を探したが該当者がいなく機関誌隊友の手配りができなくなりましたので６月から郵送に変更となりました。

小貫分会長におかれましては長期間支部役員のお勤めご苦労様でした。

役員をはじめ会員一同、船橋だよりの紙面をお借りして、心から御礼を申し上げます。

今後は、お体にお気を付け、私共に今までと変わらない御指導と御鞭撻の程宜しくお願いします。（事務局）

「船橋だより」に投稿のお願い。体験談、趣味、探索、健康、本の紹介、なんでも結構です。